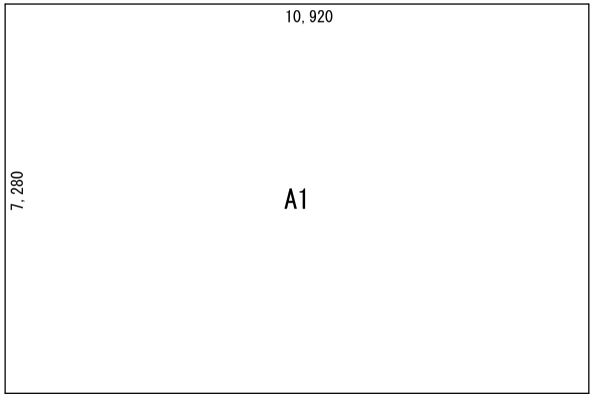
計画概要

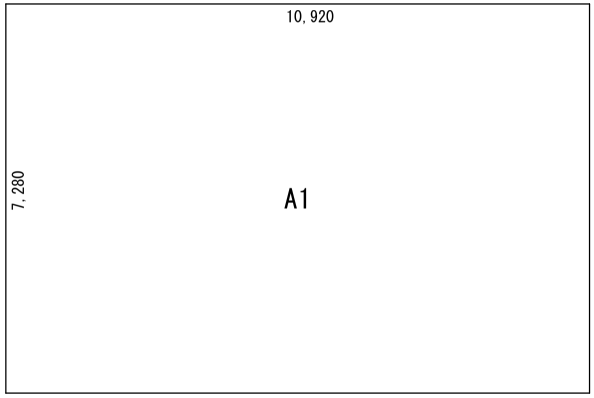
建物概要	甍の家　新築工事	
建築主	住所	愛知県
	氏名	システム推進協議会
敷地概要	地名地番	愛知県内
	計画面積	
	都市計画区域	都市計画区域内　市街化区域内
	用途地域	住居系
	防火地域	未指定　２２条
	指定建ぺい率	
	指定容積率	
	高さ制限	ー
	高度地区	ー
	日蔭指定	ー
	壁面の後退	ー
	風致地区	ー
	その他の指定	指定なし
	道路	道路復員ー㍍　接動長さー㍍
建築概要	構造	木造在来軸組構造　土塗り真壁裏返し塗りァ60
	階数	地上2階建、地下0階
	最高の高さ	7,173
	最高軒高さ	4,950
	建築面積	79,50
	床面積	
	1階床面積	79,50
	2階床面積	79,50
	延べ面積	159,0
	容積対象床面積	159,0
	建ぺい率	
	容積率	
その他		建物は延焼のおそれがない

床面積表（２階）			
	形状	計算式	面積
A1	矩形	7,82×10,92	79,4976
面積　　計（㎡）			79,4976



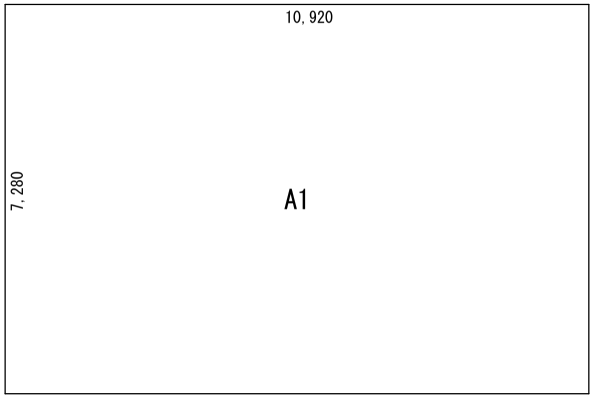
１階　床面積求積図 S:1/100

建築面積表			
	形状	計算式	面積
A1	矩形	7,82×10,92	79,4976
面積　　計（㎡）			79,4976



建築面積求積図　S:1/100

床面積表（1階）			
	形状	計算式	面積
A1	矩形	7,82×10,92	79,4976
面積　　計（㎡）			79,4976



２階　床面積求積図 S:1/100

内部仕上表

階	室名	床		壁		天井		巾木		廻縁		天井高さ
		仕上	厚	仕上	厚	仕上	厚	仕上	厚	仕上	厚	
		下地	厚	下地	厚	下地	厚					
1階	土間	３００角磁器タイル	９	珪藻土塗		杉無垢板	６	３００角タイル		杉無垢板	１６	３２２６
		モルタル	３０	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	間	杉無垢板	１５	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	２８２６
		構造用合板	１２	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	階段	杉無垢板	３６	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	２８２６
				土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	和室	タタミ	６０	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	２８２６
		構造用合板	１２	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	吊押入　地袋	杉無垢板仕上	１６	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	２８２６
		構造用合板	１２	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	ＵＢ	ユニットバス（ＪＩＳ－Ａ４４１６適合品）										
	脱衣洗面	杉無垢板	１５	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	２８２６
		構造用合板	１２	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	トイレ	杉無垢板	１５	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	２８２６
		構造用合板	１２	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
2階	踊り場	杉無垢板	１５	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	－
		構造用合板	１２	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	廊下	杉無垢板	１２	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	１５１４以上
		構造用合板	２４	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	納戸	杉無垢板	１２	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	１５１４以上
		構造用合板	２４	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	トイレ	杉無垢板	１２	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	１５１４以上
		構造用合板	２４	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	吹抜	－		珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	－
				土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					
	間（非住宅）	杉無垢板	１２	珪藻土塗		杉無垢板	６	雑巾刷	９	杉無垢板	１６	１５１４以上
		構造用合板	２４	土塗り真壁裏返し塗り	６０	石膏ボード	9.5					

地域の区分	Ⅳ地域	断熱工法の種別	充填断熱工法			

○地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

地　盤	地盤の種類	―
	許容支持力	５０KN/㎡
	地盤調査方法	スウェーデン敷きサウンディング試験
地　業	材料	砕石
	締め固め方法	ランマー締め固め

○火災時の安全　感知警報装置

種　類	設置場所	種　別	鑑定型式番号
住宅用防災警報器等	全ての居室 階段	煙式感知器	NSマーク認定品
住宅用防災警報器等	台所	煙式感知器	NSマーク認定品

○感知警報装置の設置位置についての注意

設置場所		
台所以外	天井付	壁等から0.6㍍以上離す
		換気口等の空気吹き出し口から1.5㍍以上離す
	壁付	天井から下方0.15㍍以上0.5㍍以内の位置に取り付ける
台　所	煙式	通常の調理時に煙又は蒸気がかかるおそれのない場所
	熱式	通常の調理時に高温になるおそれのある場所（コンロの真上付近の場所）以外でコンロ火災を有効に感知できる場所

※　台所については管轄消防署に位置を確認のうえ設置する事

○警報部分の性能等

設置場所	感知器部分と同じ

○火災時の安全　開口部の耐火性能

防火設備の種別	認定番号等	耐火時間
アルミサッシ・複層ガラス	外面ガラス：複層ガラス	
	防火設備：該当なし	

○火災時の安全　外壁・軒裏の耐火性能

部　位	仕　上	認定番号	耐火時間
外壁	屋外側）窯業系サイディング張りt=16	該当なし	
	屋内側）珪藻土塗り		
軒裏	杉無垢板＝12	該当なし	
換気扇・ガラリ		該当なし	

○劣化の軽減

項　目		内　容
外壁の軸組等の防腐防蟻 （地盤面から１㍍）	外壁の構造	外気通気構造
	柱の樹種、小径	桧　小径120mm
	柱以外の軸材	間柱、筋違：杉
		薬剤処理：(社)日本しろあり対策協会認定防腐防蟻材現場塗布
	構造用合板	該当なし
		薬剤処理：
土台の防腐・防蟻		外壁下端の水切りを設置
		桧　120×120
		薬剤処理：ＪＡＳに規定するｋ3相当の防腐・防蟻処理
地盤の防蟻		べた基礎ｔ＝150
浴室・脱衣室の防水	浴室	浴室ユニット（ＪＩＳ－Ａ4416適合品）
	脱衣室	該当なし
基礎高さ		地盤面から基礎天端までｔ＝410
床下防水・換気	防湿方法	コンクリートｔ＝150
	換気方法	床下換気口　　床下換気口判定表参照
小屋裏換気	換気方法	該当なし

○維持管理

専用配管	排水・給水・給湯・ガス管		基礎立ち上がり部分等の貫通部を除きコンクリート内に埋込まない
地中埋設管	排水・給水・給湯・ガス管		地中埋設管上にコンクリートを打設しない
専用排水管の清掃措置	便所		1階2階便所：取外容易な洋風便器
	その他水回り		清掃可能なトラップを設置（開口有り）　土間ーU字溝設置し配管
配水管の形状など	内面		平滑とする
			塩ビ管ＶＰ（肉厚の異なる管の接合なし）
	設置状態	たわみ防止	管の中間部、継ぎ手部分を支持金物で固定する）
		抜け防止	接着金物

	○主要接合部等の点検		
	排水管	給水管	給湯管
トイレ	取り外し可	露出	＊＊＊
洗面所	開口	開口	開口
Ｕ　Ｂ	開口	開口	開口
土　間	露出	露出	露出
トイレ	取外可	露出	＊＊＊

○給水管のバルブ及びヘッダー	
設置場所	洗面脱衣室
点検方式	床下点検口
○給湯管のバルブ及びヘッダー	
設置場所	洗面脱衣室
点検方式	床下点検口
○ガス管のバルブ及びヘッダー	
設置場所	洗面脱衣室
点検方式	床下点検口

○断熱材の種類と厚さ

Ａ：屋根（小屋裏又は天井裏が外気に通じているものを除く）又は直下の天井		t=100
種　類	住宅用グラスウール24K	
Ｂ：外気に通じる小屋裏もしくは天井裏に接する天井　※天井点検口部分も連続的に施工する		
種　類	―	
Ｃ：外気に接する壁		t= 30
種　類	押出法ポリスチレンフォーム3種	
Ｄ：外気に接する床		t= 50
種　類	押出法ポリスチレンフォーム3種	
Ｅ：その他の床（外気に通じる床裏に接する床）　※床下点検口部分も連続的に施工する		t= -
種　類	該当なし	
Ｆ：外気に接する土間床の外周部		t= 50
種　類	押出法ポリスチレンフォーム3種	
Ｇ：その他の土間床の外周部（外気に通じる床裏に接する土間床の外周部）		t= 15
種　類	押出法ポリスチレンフォーム3種	
・結露発生防止対策		
防湿気密層の措置	防湿気密フィルム（ＪＩＳＡ6930）　ｔ＝0．1	
外壁・屋根	空気層を設置	
小屋裏、床下棟の措置	劣化の軽減の基準に適合	
・断熱性能を確保するための事項		
外壁上下端端	断熱材充填による通気止め	
間仕切り壁と天井又は床との取合部の措置	断熱材充填による通気止め	
天井又は屋根の埋込型照明	断熱材で覆うことが出来るもの（ＧＳ型）を使用する	

○気密の基準

項　目	内　容
気密材の種類	防湿気密材：防湿気密フィルム　ｔ＝0．1、構造用合板　ｔ＝24
対象部位	防湿気密フィルム：天井室内部、外壁室内側
	構造用合板：最下階床下室内側
施工上の配慮	・防湿気密フィルムの重ねを30mm以上とし、合板、乾燥木材、石膏ボードなどで挟みつける
	・板状の気密材の継ぎ目は、気密補助材により隙間が生じないようにする
	・防腐・防蟻材の室内への流入防止

○気密環境、ホルムアルデヒド対策

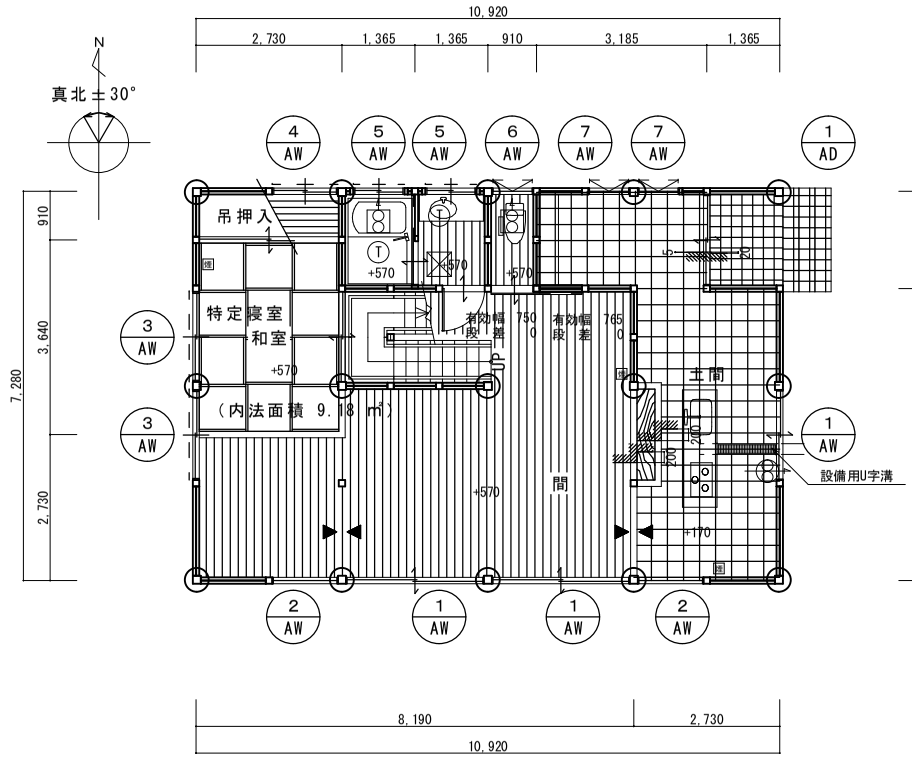
使用する建材	製材（単層フローリング）、特定建材、その他の建材（石膏ボード等）を使用
居室の内装仕上	全て☆☆☆☆を使用する
天井裏などの下地材	全て☆☆☆☆を使用する

○空気環境　居室の換気

項　目	内　容
気密の方法	第3種機械換気、換気設計書参照のこと
居室の出入り口の通気措置	ドアのアンダーカット１cm程度・引戸・襖等

○空気環境　局所換気

場　所	内　容
便所	機械換気、換気窓
浴室	機械換気、換気窓
台所	機械換気、気密窓



段　数	9段
階　高	2836
有効幅	W=750
蹴　上	R=175.0
踏　面	T=227.5
勾　配	R×2＋T＝577.5 550≦577.5≦650 R／T＝0.769×21／21 ＝16.15／21≦22／21
蹴込板	なし
蹴　込	－
段　鼻	あり 30㎜

凡　例
- 煙　煙感知器
- 熱　熱感知器
- 局所換気扇（壁）
- 局所換気扇（天井）
- T　トラップ
- アンダーカット

住宅用火災警報器配置表

部屋名	居室	警報器	取付
和室	○	煙	壁
間	○	煙	壁
土間	○	煙	壁

○通路及び出入り口の幅員　（日常生活空間内）
通路の有効幅員は85cmとする。（柱等の箇所は75cm）
玄関、浴室以外の室の出入り口有効幅員75cmは
軽微な改造による対応とする

記　号	AW-1　（南－２）（西－１）	
寸　法	1600×2000	
形　式	アルミ製．引き違い2枚	
延焼線	外	
設置室	居室	単純開口部3.3㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	その他	

記　号	AW-２　（南－２）	
寸　法	700×2000	
形　式	アルミ製．FIX	
延焼線	外	
設置室	居室	単純開口部1.4㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	その他	

記　号	AW-３　（西－２）	
寸　法	1600×1100	
形　式	アルミ製．引き違い2枚	
延焼線	外	
設置室	居室	単純開口部1.76㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	その他	

記　号	AW-４　（北－１）	
寸　法	1200×600	
形　式	アルミ製．引き違い2枚	
延焼線	外	
設置室	居室	単純開口部0.72㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	その他	

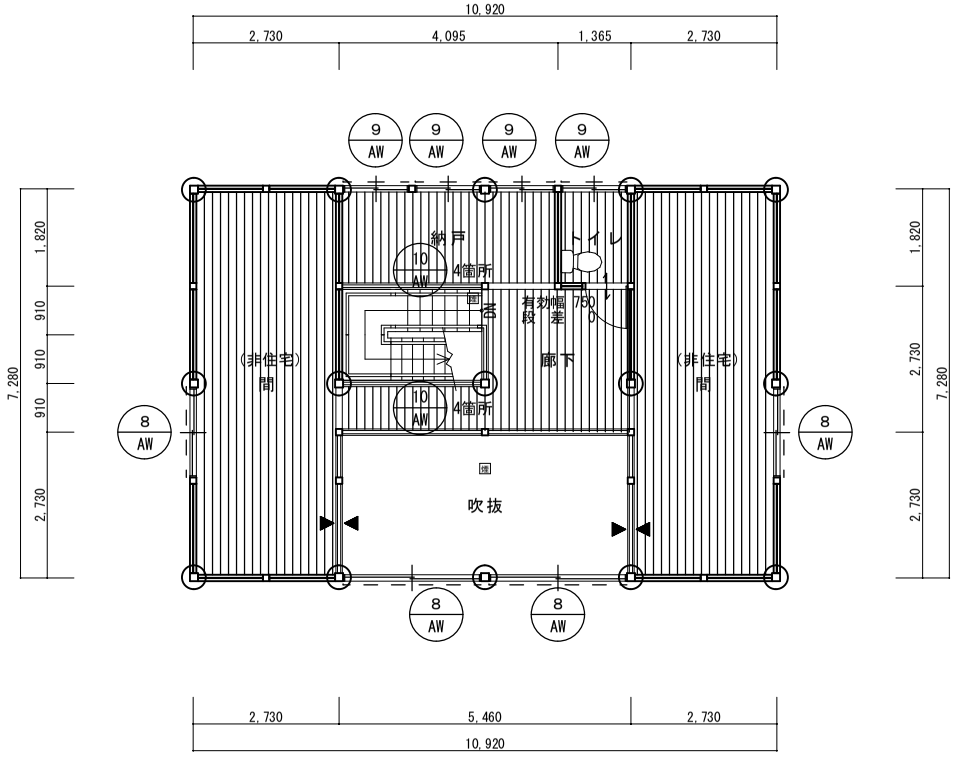
記　号	AW-５　（北－２）	
寸　法	700×700	
形　式	アルミ製．引き違い2枚	
延焼線	外	
設置室	非居室	単純開口部0.49㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	その他	

記　号	AW-６　（北－１）	
寸　法	600×600	
形　式	アルミ製．打ち倒し	
延焼線	外	
設置室	非居室	単純開口部0.36㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	その他	

記　号	AW-７　（北－２）	
寸　法	600×600	
形　式	アルミ製．打ち倒し３段	
延焼線	外	
設置室	居室	単純開口部１.08㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	その他	

記　号	AW-1　（東－１）	
寸　法	1600×2000	
形　式	アルミ製．引き違い2枚	
延焼線	外	
設置室	居室	単純開口部3.3㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	その他	

記　号	AD-1　（東－１）	
寸　法	1600×2300	
形　式	アルミ製．引き違い2枚（CP表示品）	
延焼線	外	
設置室	非居室	単純開口部3.3㎡
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	：比較的進入容易な開口部	
進入防止対策	鍵を2以上装着・・1以上の錠（CP表示） 1以上の錠サムターン（防犯性向上）	



記　号	AW-8（南－２）（西－１）（東－１）	
寸　法	1600×1100	
形式	アルミ製、引き違い2枚	
延焼線	外	
設置室	居室、非居室	単純開口部1.76㎡）
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	ｃ：a、b以外	
進入防止対策	その他	

記　号	AW-１０（南－２）（北－２）	
寸　法	800×200	
形式	アルミ製、よろい戸	
延焼線	外	
設置室	非居室	単純開口部0.16㎡）
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	ｃ：a、b以外	
進入防止対策	その他	

記　号	AW-９（北－４）	
寸　法	1200×900	
形式	アルミ製、引き違い2枚	
延焼線	外	
設置室	非居室	単純開口部1.08㎡）
ガラス	FT4+A6+FT4	
日射遮蔽措置	不要	
進入可能開口区分	ｃ：a、b以外	
進入防止対策	その他	

方位別開口比

方位	開口面積（㎡）	方位別開口面積	開口面積合計（㎡）	方位別開口比（%）
南	1.6x1.1x2 1.6x2.0x2. 0.7x2.0x2	11.62	20.50	55%以上
西	1.6x1.1x2	3.52		17%以上
北	0.6x0.6x3x2	2.16		10%以上
東	1.6x2.0	3.20		15%以上
真北	0.00	0.00	0.00	0%

単純開口率

開口総面積（㎡）	20.50
居室の総面積（㎡）	65.42
単純開口比（%）	31%以上

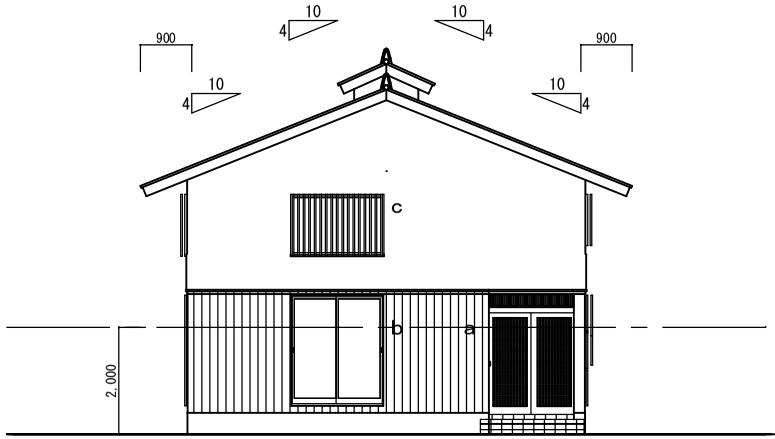
段　数	7段
階　高	2836
有効幅	W=750
蹴　上	R=180.0
踏　面	T=231.1
勾　配	R×２＋T＝591.1 550≦591.1≦650 R／T＝0.779×21／21 ＝16.36／21≦22／21
蹴込板	なし
蹴　込	ー
段　鼻	あり 30mm

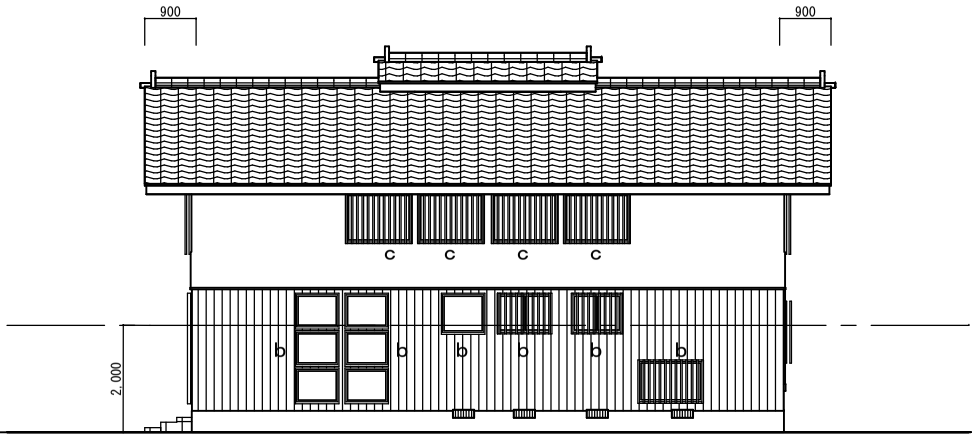
住宅用火災警報器配置表

部屋名	居室	警報器	取付
吹抜		煙	壁
階段		煙	壁

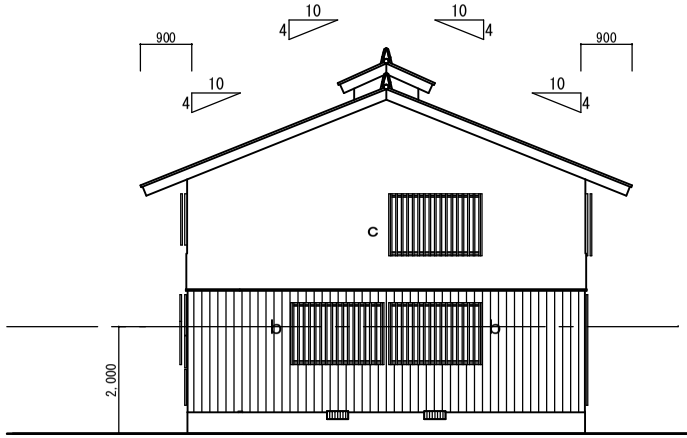
○通路及び出入り口の幅員　（日常生活空間内）

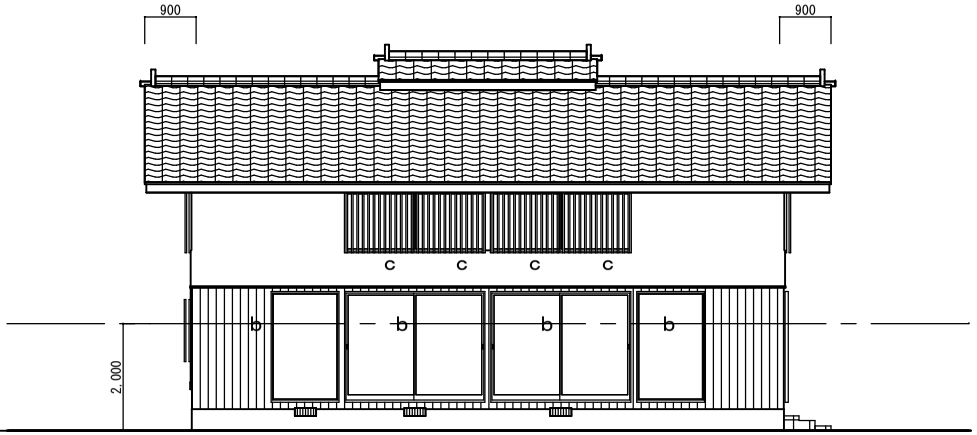
通路の有効幅員は85cmとする。（柱等の箇所は75cm）
玄関、浴室以外の室の出入り口有効幅員75cmは
軽微な改造による対応とする

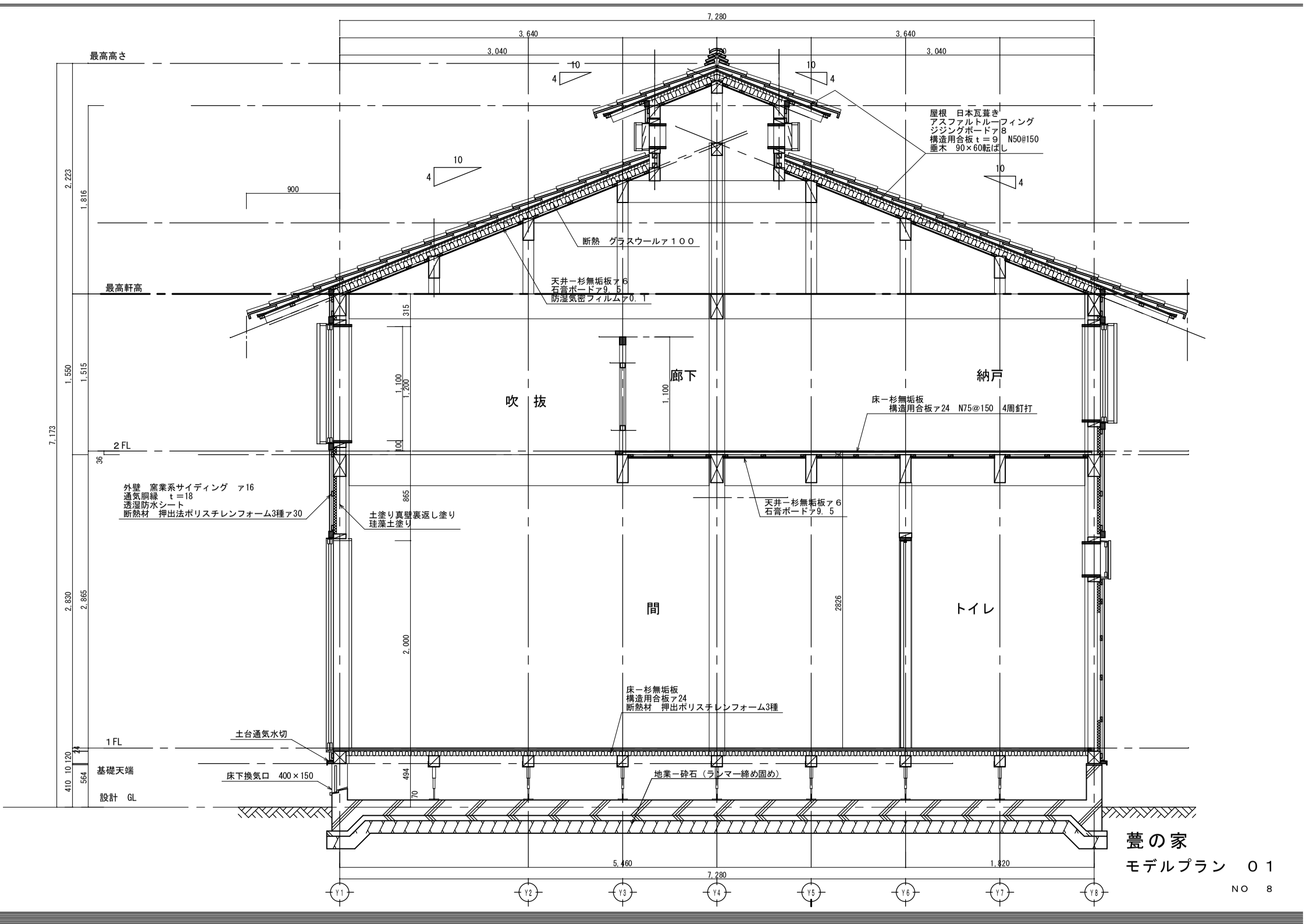




凡例
ａ、ｂ、ｃは防犯に関することの評価対象開口部の区分
ａ：住戸の出入り口
ｂ：外部からの接近が容易な開口部
ｃ：その他の開口部



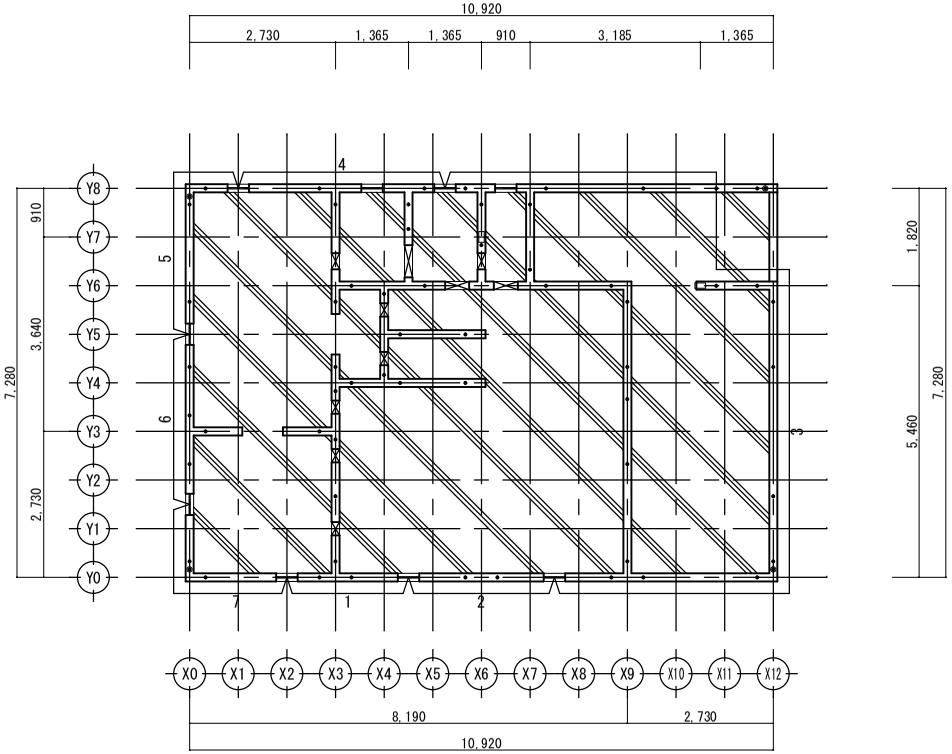




甍の家

モデルプラン　０１

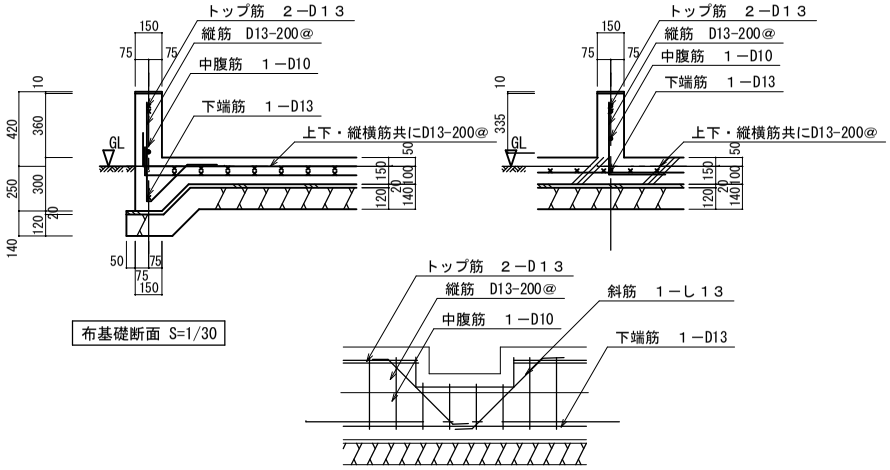
NO　8



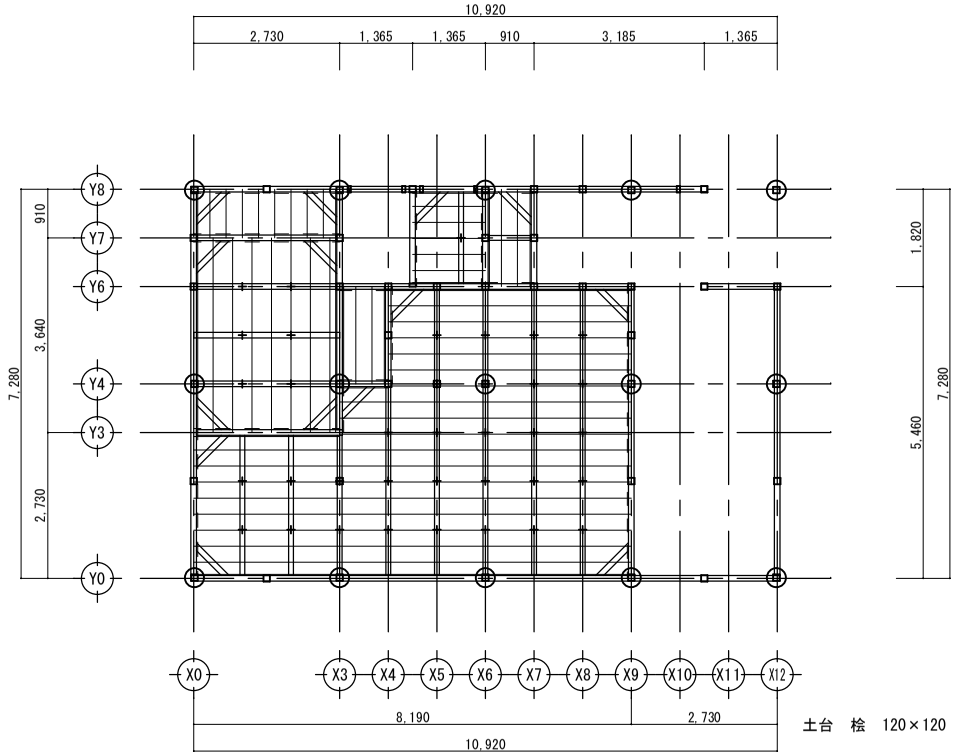
床下換気口判定表

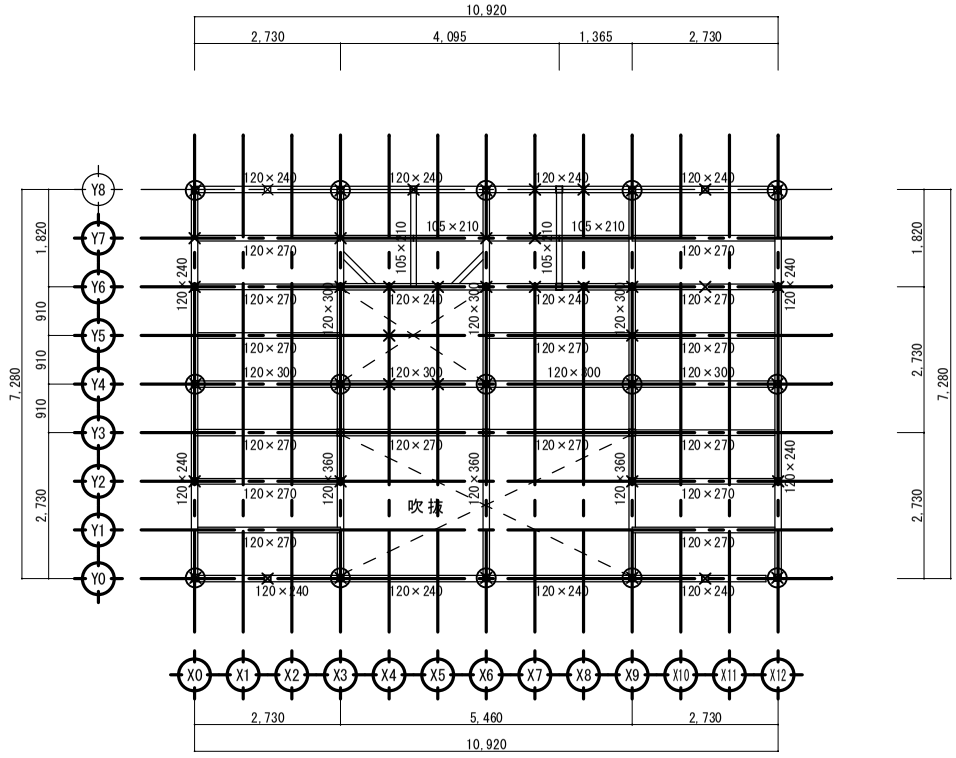
No	換気口形状	高さ (cm)	幅 (cm)	数	開口率	有効面積 (cm²)	判定	距離 (m)	判定
1	矩形	15.0	40.0	1.0	0.60	360.0	OK	2.28	OK
2	矩形	15.0	40.0	1.0	0.60	360.0	OK	2.73	OK
3	矩形	15.0	40.0	2.0	0.60	720.0	OK	2.96	OK
4	矩形	15.0	40.0	1.0	0.60	360.0	OK	2.51	OK
5	矩形	15.0	40.0	1.0	0.60	360.0	OK	3.64	OK
6	矩形	15.0	40.0	1.0	0.60	360.0	OK	3.19	OK
7	矩形	15.0	40.0	1.0	0.60	360.0	OK	3.19	OK

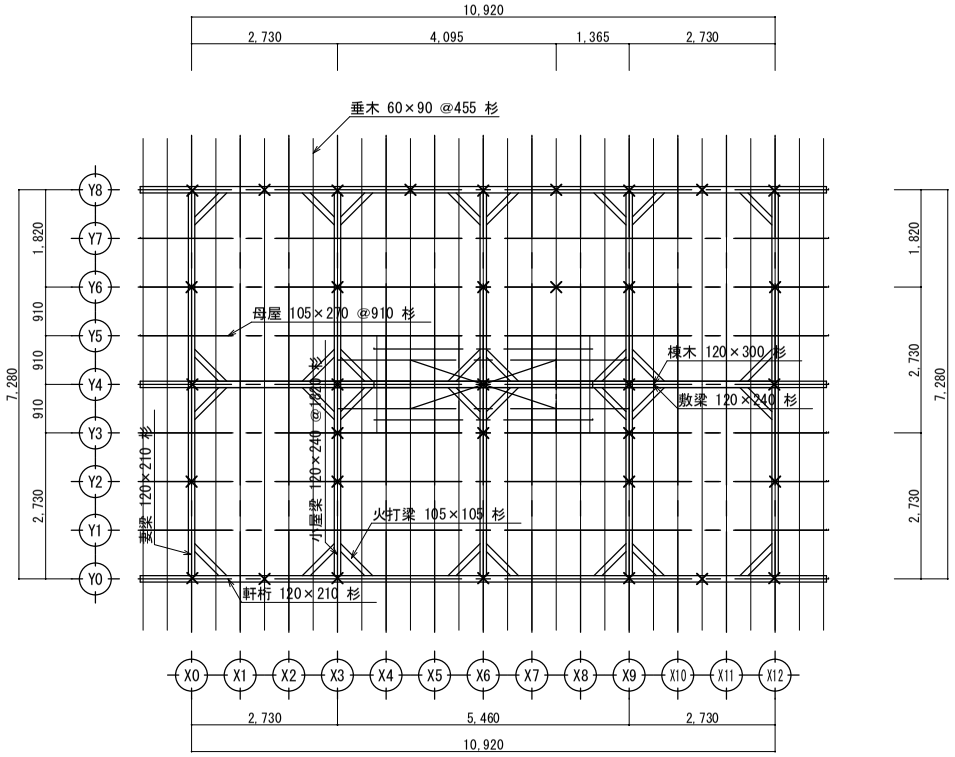
壁長さ4.00m以下毎の有効面積300.0cm²以上

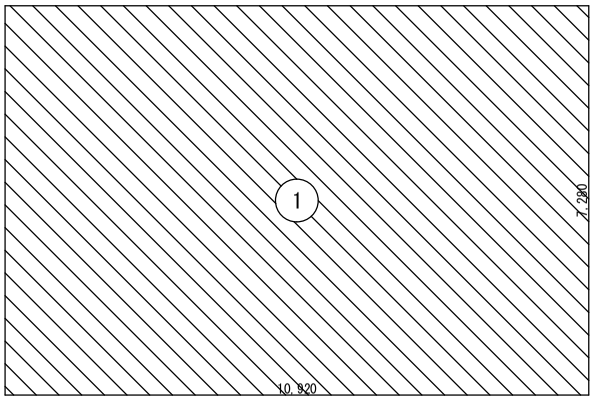


布基礎断面 S=1/30

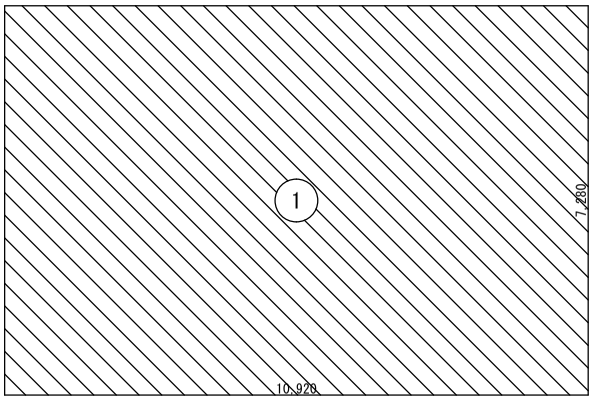

10,920
2,730
1,365
1,365
910
3,185
1,365
Y8
Y7
Y6
Y4
Y3
Y0
910
3,640
2,730
7,280
1,820
5,460
7,280
X0
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
8,190
2,730
10,920
土台　桧　120×120


10,920
2,730
4,095
1,365
2,730
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
7,280
1,820
910
910
910
2,730
120×240
120×270
120×300
120×360
105×210
105×110
吹抜
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
2,730
5,460
2,730
10,920


10,920
2,730
4,095
1,365
2,730
垂木 60×90 @455 杉
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
1,820
910
910
910
2,730
7,280
母屋 105×270 @910 杉
棟木 120×300 杉
敷梁 120×240 杉
小屋梁 120×240 @1820 杉
妻梁 120×210 杉
火打梁 105×105 杉
軒桁 120×210 杉
1,820
2,730
2,730
7,280
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
2,730
5,460
2,730
10,920



1階床面積算定図



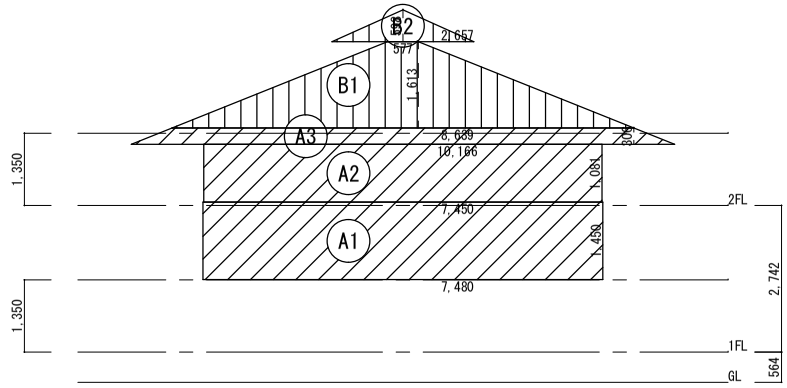
2階床面積算定図

床面積表　　単位　㎡

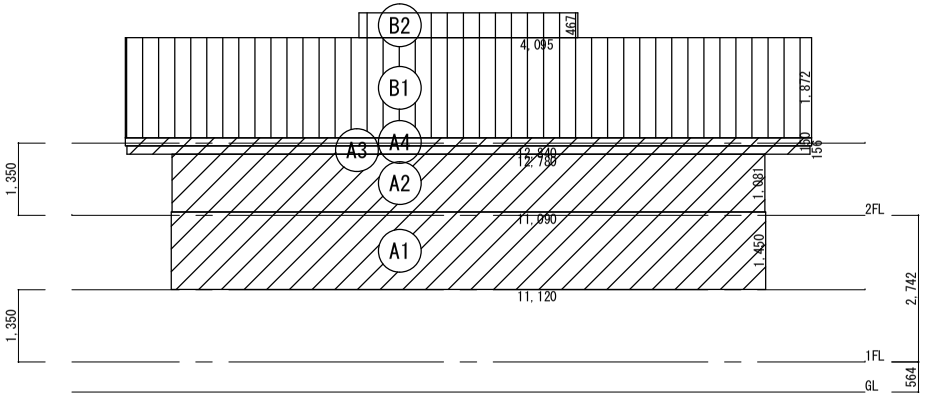
階		面積		計
2	①	10.920×7.280	79.497600	79.50
1	①	10.920×7.280	79.497600	79.50

見付面積表　　単位　㎡

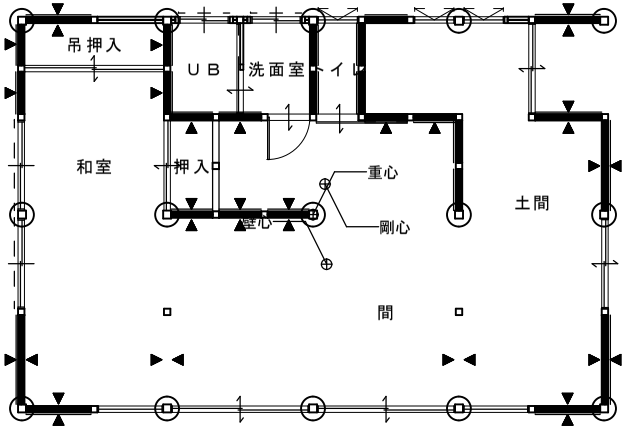
方向	階		面積		計	累計
X	2	⑪	(8.639+0.577)×1.613÷2.0	7.432704	8.23	8.23
		⑫	2.657×0.598÷2.0	0.794443		
	1	⑦	7.480×1.450	10.846000	21.78	30.01
		⑧	7.450×1.081	8.053450		
		⑨	(10.166+8.639)×0.306÷2.0	2.877165		
Y	2	⑬	12.840×1.872	24.036480	25.95	25.95
		⑭	4.095×0.467	1.912365		
	1	⑩	11.120×1.450	16.124000	32.04	57.99
		⑧	11.090×1.081	11.988290		
		⑮	12.780×0.156	1.993680		
		⑯	12.840×0.150	1.926000		



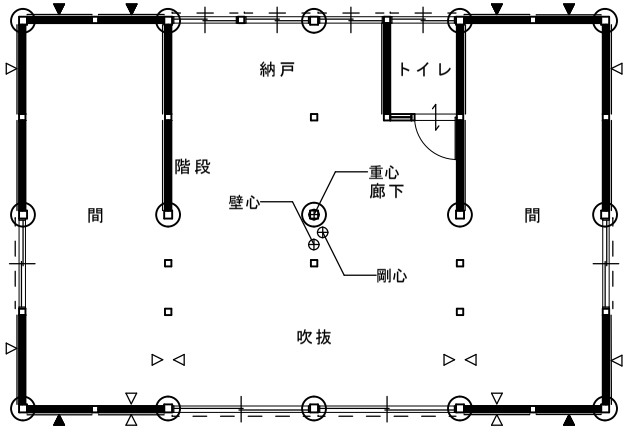
X方向(東面)軸組用見付面積算定図



Y方向(南面)軸組用見付面積算定図



１階平面図



２階平面図

存在軸組長算定表　　単位　m

階	方向	記号	倍率	×	長さ	×	個所	=	軸組長	合計
2	X	W6	0.5		1.215		4		2.430	29.220
		W6	0.5		1.230		4		2.460	
		W3	2.0		1.365		1		2.730	
		W3	2.0		1.350		5		13.500	
		W2	3.0		1.350		2		8.100	
	Y	W6	0.5		1.700		1		0.850	30.206
		W6	0.5		1.670		5		4.175	
		W6	0.5		1.685		4		3.370	
		W6	0.5		1.669		1		0.834	
		W2	3.0		1.790		2		10.740	
		W1	1.5		1.820		3		8.190	
		W1	1.5		1.365		1		2.047	
1	X	W6	0.5		1.215		4		2.430	51.457
		W6	0.5		0.790		6		2.370	
		W6	0.5		0.775		2		0.775	
		W6	0.5		1.245		1		0.622	
		W4	4.0		1.365		3		16.380	
		W4	4.0		0.910		3		10.920	
		W4	4.0		1.335		2		10.680	
		W3	2.0		0.910		4		7.280	
	Y	W6	0.5		0.760		3		1.140	49.549
		W6	0.5		0.790		6		2.370	
		W6	0.5		0.775		1		0.387	
		W6	0.5		1.685		1		0.842	
		W6	0.5		1.670		2		1.670	
		W4	4.0		1.820		1		7.280	
		W4	4.0		1.790		4		28.640	
		W3	2.0		0.880		1		1.760	
		W3	2.0		0.910		3		5.460	

軸組判定表　　単位　m

階	方向	存在軸組長	判定	必要軸組長		壁余裕度
				床面積(地震力)	見付面積(風圧力)	
2	X	29.220	＞ OK	16.695	4.115	1.75
	Y	30.206	＞ OK	16.695	12.975	1.80
1	X	51.457	＞ OK	26.235	15.005	1.96
	Y	49.549	＞ OK	26.235	28.995	1.70

凡例

記号	壁の構造		筋かいの構造		倍率
W1			木材30×90片方向	1.5	1.5
W2			木材30×90たすき掛	3.0	3.0
W3			木材45×90片方向	2.0	2.0
W4			木材45×90たすき掛	4.0	4.0
W5			木材90×90片方向	3.0	3.0
W6	土塗壁	0.5			0.5
W7	木ずり片面	0.5			0.5
W8	石膏ボード	2.0			2.0
W10	石膏ボード又は強化石膏ボード	0.9			0.9
W11	ダイライトァ9	2.5			2.5
W12	ダイライトァ12	3.0			3.0
W13	かべ太将	3.3			3.3
W15	窯業系サイディング	0.5			0.5

必要軸組長算定表　　単位　m

床面積(地震力)に対する必要軸組長

階	方向	床面積	乗ずる数値	必要軸組長
2	X	79.50	0.210	16.695
	Y			
1	X	79.50	0.330	26.235
	Y			

見付面積(風圧力)に対する必要軸組長

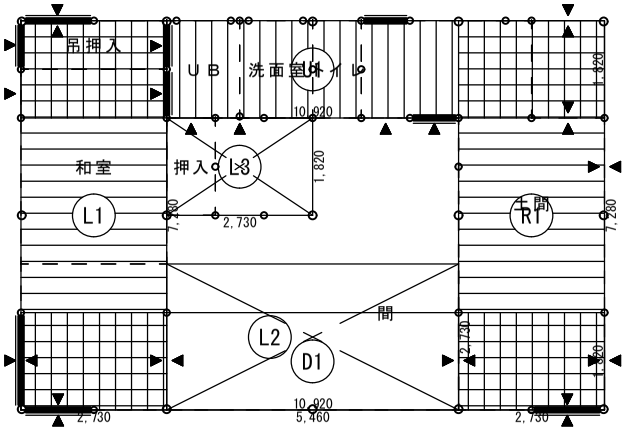
階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要軸組長
2	X	8.23	0.500	4.115
	Y	25.95		12.975
1	X	30.01		15.005
	Y	57.99		28.995

床面積(地震力)に係る条件

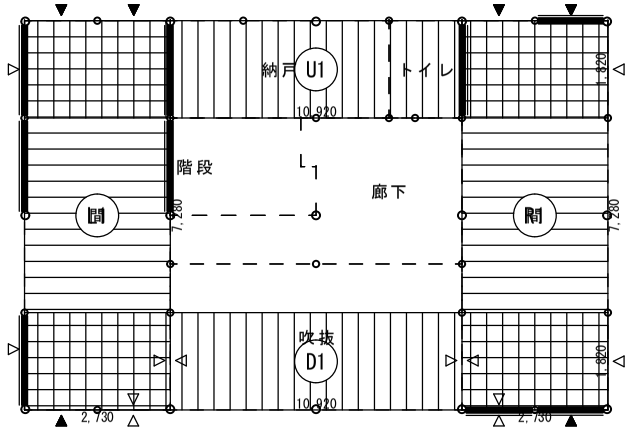
■ 一般区域
□ 特定行政庁が指定する軟弱地盤区域(一般区域の1.5倍)
□ 特定行政庁が指定するその他の区域
■ 壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)
□ 屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)
□ 準耐火構造の耐火性能確保(1.25倍)
□ 割り増し倍率考慮

見付面積(風圧力)に係る条件

□ 特定行政庁が認める強風区域
■ 上記以外の区域



１階壁釣り合い算定図



２階壁釣り合い算定図

側端部分床面積表　　単位　㎡

階	方向			面積		計
2	X	上	⑩	10.920×1.820	19.874400	19.88
		下	⑩	10.920×1.820	19.874400	19.88
	Y	左	⑫	2.730×7.280	19.874400	19.88
		右	⑪	2.730×7.280	19.874400	19.88
1	X	上	⑩	10.920×1.820	19.874400	19.88
		下	⑩	10.920×1.820	19.874400	19.88
	Y	左	⑪	2.730×7.280	19.874400	0.00
			⑫	5.460×2.730	-14.905800	
			⑬	2.730×1.820	-4.968600	
		右	⑪	2.730×7.280	19.874400	19.88

側端部分必要軸組長算定表　　単位　m

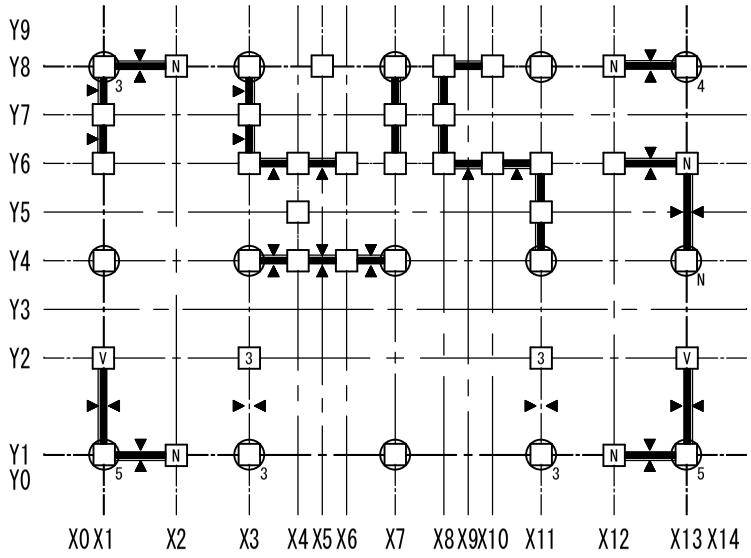
階	方向		床面積 ㎡	物置等 ㎡	合計床面積 ㎡	乗ずる数値	必要軸組長
2	X	上	19.88	0.00	19.88	0.210	4.175
		下	19.88	0.00	19.88	0.210	4.175
	Y	左	19.88	0.00	19.88	0.210	4.175
		右	19.88	0.00	19.88	0.210	4.175
1	X	上	19.88	0.00	19.88	0.330	6.561
		下	19.88	0.00	19.88	0.330	6.561
	Y	左	-19.88	0.00	-19.88	0.150	-2.982
			19.88	0.00	19.88	0.330	6.561
		右	19.88	0.00	19.88	0.330	6.561

側端部分存在軸組長算定表　　単位　m

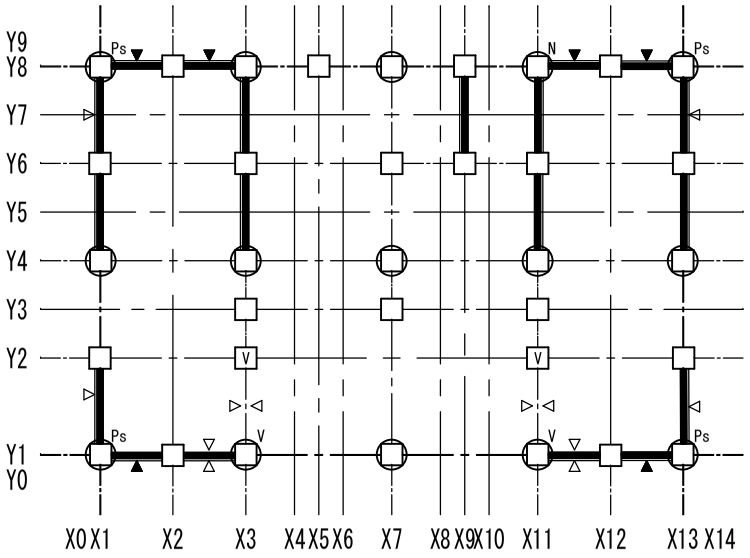
階	方向		記号	倍率	×	長さ	×	個所	＝	軸組長	合計
2	X	上	W6	0.5		1.215		1		0.607	11.437
			W3	2.0		1.365		1		2.730	
			W3	2.0		1.350		3		8.100	
		下	W6	0.5		1.215		1		0.607	14.722
			W6	0.5		1.230		1		0.615	
			W3	2.0		1.350		2		5.400	
			W2	3.0		1.350		2		8.100	
	Y	左	W6	0.5		1.685		2		1.685	14.337
			W6	0.5		1.670		3		2.505	
			W2	3.0		1.790		1		5.370	
			W1	1.5		1.820		1		2.730	
			W1	1.5		1.365		1		2.047	
		右	W6	0.5		1.670		1		0.835	11.665
			W2	3.0		1.790		1		5.370	
			W1	1.5		1.820		2		5.460	
1	X	上	W6	0.5		1.215		1		0.607	25.057
			W6	0.5		0.790		2		0.790	
			W4	4.0		1.365		3		16.380	
			W3	2.0		0.910		4		7.280	
		下	W6	0.5		1.215		2		1.215	11.895
			W4	4.0		1.335		2		10.680	
	Y	左	W6	0.5		0.760		2		0.760	23.530
			W6	0.5		0.790		1		0.395	
			W6	0.5		1.670		1		0.835	
			W4	4.0		1.790		2		14.320	
			W3	2.0		0.880		1		1.760	
			W3	2.0		0.910		3		5.460	
		右	W4	4.0		1.820		1		7.280	21.600
			W4	4.0		1.790		2		14.320	

壁釣り合い判定表　　単位　m

階	方向		必要軸組長	存在軸組長	壁量充足率	壁率比	判定
2	X	上	4.175	11.437	2.739	0.776	OK
		下	4.175	14.722	3.526		
	Y	左	4.175	14.337	3.434	0.813	OK
		右	4.175	11.665	2.794		
1	X	上	6.561	25.057	3.819	0.474	OK
		下	6.561	11.895	1.812		
	Y	左	3.579	23.530	6.574	0.500	OK
		右	6.561	21.600	3.292		



１階柱壁伏図



２階柱壁伏図

接合部凡例

記号		仕様	N	倍率
(い)		短ほぞ差し又はかすがい打ち	0.00	
(ろ)	N	長ほぞ差し込み栓又はL字型金物	0.65	0.7
(ろ)	L	L字型金物		0.7
(は)	V	V字型金物	1.00	1.0
(は)	T	T字型金物		1.0
(に)	P	羽子板ﾎﾞﾙﾄ	1.40	1.4
(に)	I	短冊金物		1.4
(ほ)	Ps	羽子板ﾎﾞﾙﾄ+ｽｸﾘｭｰ釘T50	1.60	1.6
(ほ)	Is	短冊金物+ｽｸﾘｭｰ釘T50		1.6
(へ)	2	10KN用引き寄せ金物	1.80	1.8
(と)	3	15KN用引き寄せ金物	2.80	2.8
(ち)	4	20KN用引き寄せ金物	3.70	3.7
(り)	5	25KN用引き寄せ金物	4.70	4.7
(ぬ)	32	15KN用引き寄せ金物×2	5.60	5.6
(る)	J1	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ﾎﾞﾙﾄ､短冊金物		1.9
(を)	J2	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ﾎﾞﾙﾄ､短冊金物×2		3.0
イ	S1	鉄筋φ9､CN90×8		
ロ	S2	筋かい:15×90､N65×5平打ち		
ハ	S3	筋かい:30×90､BP		
ニ	S4	筋かい:45×90､金物:BP-2		
ホ	S5	筋かい:90×90､ﾎﾞﾙﾄφ12		

胴差と通し柱の接合部の仕様

	胴差と通し柱の条件	仕口
T1	通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板ﾎﾞﾙﾄ、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2	通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

凡例

記号	壁の構造		筋かいの構造		倍率
W1			木材30×90片方向	1.5	1.5
W2			木材30×90たすき掛	3.0	3.0
W3			木材45×90片方向	2.0	2.0
W4			木材45×90たすき掛	4.0	4.0
W5			木材90×90片方向	3.0	3.0
W6	土塗壁	0.5			0.5
W7	木ずり片面	0.5			0.5
W8	石膏ボード	2.0			2.0
W10	石膏ボード又は強化石膏ボード	0.9			0.9
W11	ダイライトｱ9	2.5			2.5
W12	ダイライトｱ12	3.0			3.0
W13	かべ大将	3.3			3.3
W15	窯業系サイディング	0.5			0.5

柱接合部判定表

階	通し柱	柱位置 X	柱位置 Y	出隅柱 階数1又は階数2の2階	出隅柱 階数2の1階	計算式 X方向		計算式 Y方向		N	柱頭 仕様	柱頭 判定	柱脚 仕様	柱脚 判定	胴差と通し柱 仕様	胴差と通し柱 判定
2		2	0	×	—	1.0×0.5−0.6	-0.10	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		12	0	×	—	1.0×0.5−0.6	-0.10	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
	○	1	1	○	—	(2.5+0.5)×0.8−0.4	2.00	0.5×0.8−0.4	0.00	2.00	Ps(ほ)	NG	金物不要	OK		
	○	3	1	×	—	3.5×0.5−0.6	1.15	3.0×0.5−0.6	0.90	1.15	V(は)	NG	金物不要	OK		
	○	7	1	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	金物不要	OK		
	○	11	1	×	—	3.5×0.5−0.6	1.15	3.0×0.5−0.6	0.90	1.15	V(は)	NG	金物不要	OK		
	○	13	1	○	—	(2.5+0.5)×0.8−0.4	2.00	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	2.00	Ps(ほ)	NG	金物不要	OK		
		0	2	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.15	□(い)	NG	□(い)	NG		
		3	2	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	3.0×0.5−0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		11	2	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	3.0×0.5−0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		14	2	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.15	□(い)	NG	□(い)	NG		
		3	3	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	3	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		11	3	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
	○	1	4	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.5×0.5−0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	金物不要	OK		
	○	3	4	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.5×0.5−0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	金物不要	OK		
	○	7	4	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	金物不要	OK		
	○	11	4	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.5×0.5−0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	金物不要	OK		
	○	13	4	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.5×0.5−0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	金物不要	OK		
		0	6	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	(1.5−0.5)×0.5−0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		3	6	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	6	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	6	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.5×0.5−0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		11	6	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		14	6	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	(1.5−0.5)×0.5−0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
	○	1	8	○	—	(2.5+0.5)×0.8−0.4	2.00	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	2.00	Ps(ほ)	NG	金物不要	OK		
	○	3	8	×	—	(2.5+0.5)×0.5−0.6	0.90	0.5×0.5−0.6	-0.35	0.90	□(い)	NG	金物不要	OK		
	○	7	8	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	金物不要	OK		
	○	11	8	×	—	(2.5+0.5)×0.5−0.6	0.90	0.5×0.5−0.6	-0.35	0.90	N(ろ)	NG	金物不要	OK		
	○	13	8	○	—	(2.5+0.5)×0.8−0.4	2.00	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	2.00	Ps(ほ)	NG	金物不要	OK		
		2	9	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		5	9	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	9	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.5×0.5−0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		12	9	×	—	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
1		2	0	×	×	4.5×0.5+0.0×0.5−1.6	0.65	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.65	N(ろ)	OK	N(ろ)	OK		
		12	0	×	×	4.5×0.5+0.0×0.5−1.6	0.65	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.65	N(ろ)	OK	N(ろ)	OK		
	○	1	1	○	○	4.5×0.8+(2.0+0.5)×0.8−1.0	4.60	4.5×0.8+0.5×0.8−1.0	3.00	4.60	金物不要	OK	5(り)	OK	T1	OK
	○	3	1	×	×	0.0×0.5+2.5×0.5−1.6	-0.35	4.0×0.5+3.0×0.5−1.6	1.90	1.90	金物不要	OK	3(と)	OK	T1	OK
	○	7	1	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	金物不要	OK	□(い)	OK	T1	OK
	○	11	1	×	×	0.0×0.5+2.5×0.5−1.6	-0.35	4.0×0.5+3.0×0.5−1.6	1.90	1.90	金物不要	OK	3(と)	OK	T1	OK
	○	13	1	○	○	4.5×0.8+(2.0+0.5)×0.8−1.0	4.60	4.5×0.8+(0.0+0.5)×0.8−1.0	3.00	4.60	金物不要	OK	5(り)	OK	T1	OK
		0	2	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	4.5×0.5+(1.0−0.5)×0.5−1.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		3	2	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	4.0×0.5+3.0×0.5−1.6	1.90	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK		
		11	2	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	4.0×0.5+3.0×0.5−1.6	1.90	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK		
		14	2	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	4.5×0.5+(1.0−0.5)×0.5−1.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
	○	1	4	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5+0.5×0.5−1.6	-1.35	-1.35	金物不要	OK	□(い)	OK	T1	OK
	○	3	4	×	×	4.5×0.5+0.0×0.5−1.6	0.65	0.0×0.5+0.5×0.5−1.6	-1.35	0.65	金物不要	OK	□(い)	NG	T1	OK
		4	4	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		6	4	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
	○	7	4	×	×	4.5×0.5+0.0×0.5−1.6	0.65	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.65	金物不要	OK	□(い)	NG	T1	OK
	○	11	4	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.5×0.5+0.5×0.5−1.6	-1.10	-1.10	金物不要	OK	□(い)	OK	T1	OK
	○	13	4	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	4.5×0.5+0.5×0.5−1.6	0.90	0.90	金物不要	OK	N(ろ)	NG	T1	OK
		4	5	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		11	5	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	6	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	(2.5−0.5)×0.5+(0.5−0.5)×0.5−1.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		3	6	×	×	(2.5+0.5)×0.5+0.0×0.5−1.6	-0.10	(2.5−0.5)×0.5+0.0×0.5−1.6	-0.60	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		4	6	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		6	6	—	×	(2.5+0.5)×0.5−1.6	-0.10	0.0×0.5−1.6	-1.60	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	6	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.5×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.35	-1.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		8	6	—	×	(2.5+0.5)×0.5−1.6	-0.10	0.5×0.5+0.13−1.6 [X9Y6] 0.5×0.5×0.455/0.91	-1.22 0.13	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		10	6	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5+0.13−1.6 [X9Y6] 0.5×0.5×0.455/0.91	-1.47 0.13	-1.47	□(い)	OK	□(い)	OK		
		11	6	×	×	(2.5+0.5)×0.5+0.0×0.5−1.6	-0.10	0.5×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.35	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		12	6	—	×	4.5×0.5−1.6	0.65	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.65	□(い)	NG	□(い)	NG		
		14	6	×	○	4.5×0.8+0.0×0.5−1.0	2.60	4.5×0.8+(0.5−0.5)×0.5−1.0	2.60	2.60	N(ろ)	NG	N(ろ)	NG		
		0	7	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	(0.0+1.0)×0.5−1.6	-1.10	-1.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		3	7	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	(0.0+1.0)×0.5−1.6	-1.10	-1.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	7	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		8	7	—	×	0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
	○	1	8	○	○	4.5×0.8+(2.0+0.5)×0.8−1.0	4.60	(2.5−0.5)×0.8+(0.0+0.5)×0.8−1.0	1.00	4.60	金物不要	OK	3(と)	NG	T1	OK
	○	3	8	×	×	0.0×0.5+(0.0+0.5)×0.5−1.6	-1.35	(2.5−0.5)×0.5+0.5×0.5−1.6	-0.35	-0.35	金物不要	OK	□(い)	OK	T1	OK
	○	7	8	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.5×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.35	-1.35	金物不要	OK	□(い)	OK	T1	OK
	○	11	8	×	×	0.0×0.5+(2.0+0.5)×0.5−1.6	-0.35	0.0×0.5+0.5×0.5−1.6	-1.35	-0.35	金物不要	OK	□(い)	OK	T1	OK
	○	13	8	○	○	4.5×0.8+(2.0+0.5)×0.8−1.0	4.60	0.0×0.8+(0.0+0.5)×0.8−1.0	-0.60	4.60	金物不要	OK	4(ち)	NG	T1	OK
		2	9	×	×	4.5×0.5+1.0×0.5−1.6	1.15	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	1.15	N(ろ)	NG	N(ろ)	NG		
		5	9	×	×	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	0.0×0.5+0.0×0.5−1.6	-1.60	-1.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		8	9	—	×	0.5×0.5−1.6	-1.35	0.5×0.5+0.13−1.6 [X9Y9] 0.5×0.5×0.455/0.91	-1.22 0.13	-1.22	□(い)	OK	□(い)	OK		
		10	9	—	×	0.5×0.5−1.6	-1.35	0.0×0.5+0.13−1.6 [X9Y9] 0.5×0.5×0.455/0.91	-1.47 0.13	-1.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		12	9	×	○	4.5×0.8+0.0×0.5−1.0	2.60	0.0×0.8+0.0×0.5−1.0	-1.00	2.60	N(ろ)	NG	N(ろ)	NG		

建物諸元	
建物名称	Ⅲ／性能　「萱の家」システム推進協議会
平面単位ﾓｼﾞｭｰﾙ	910.0
階数	2
屋根	重い屋根
多雪区域	外
最深積雪量(m)	1.00
地震地域係数 Z	1.0
地域基準風速 Vo(m/s)	30
床面積 ㎡	
１階	79.50
２階	79.50
延床面積 ㎡	159.00
屋根勾配	0.4
立面上の屋根厚さ	
階高	
１階	2742.0
２階	1514.0
軸組階高	
１階	2730.0
２階	1550.0
横架材間内法寸法	
１階	2715.0
２階	2850.0
天井高	
１階	2400.0
２階	2400.0
開口高	
掃出・ドア	2000.0
腰高窓(大)	1400.0
腰高窓(中)	1000.0
小窓	600.0
目標等級	
耐震等級(倒壊防止・損傷防止)	2
耐風等級	2
耐積雪等級	―

性能表示必要軸組長算定表　　単位　m

床面積(地震力)に対する必要軸組長

階	方向	床面積	乗ずる数値	必要軸組長
2	X	79.50	0.343	27.269
	Y			
1	X	79.50	0.580	46.110
	Y			

見付面積(風圧力)に対する必要軸組長

階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要軸組長
2	X	8.23	0.530	4.362
	Y	25.95		13.754
1	X	30.01		15.906
	Y	57.99		30.735

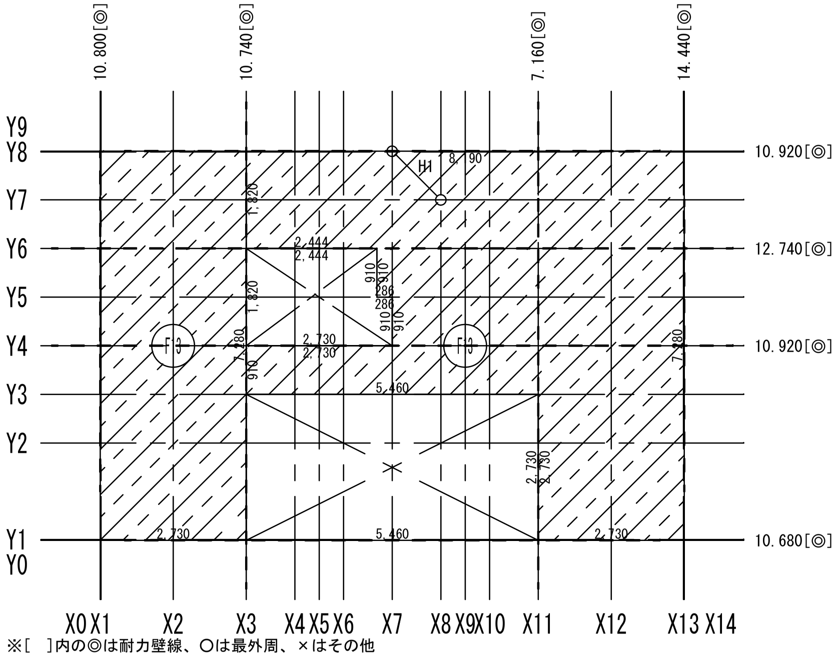
床面積(地震力)に係る条件
■ 壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)
□ 屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)
地震地域係数 Z 1.0
□ 多雪区域
□ 勾配低減
Rf=2階床面積/1階床面積=1.000
K1=0.4+0.6Rf=1.000
K2=1.3+0.07/Rf(Rfが0.1より小さい場合2.0)=1.370
１階乗ずる数値=0.580K1
２階乗ずる数値=0.250K2
見付面積(風圧力)に係る条件
地域基準風速 Vo(m/s) 30

性能表示存在軸組長算定表　　単位　m

階	方向	軸組長	準耐力壁等軸組長	存在軸組長
2	X	29.220	0.000	29.220
	Y	30.206	0.000	30.206
1	X	51.457	0.000	51.457
	Y	49.549	0.000	49.549

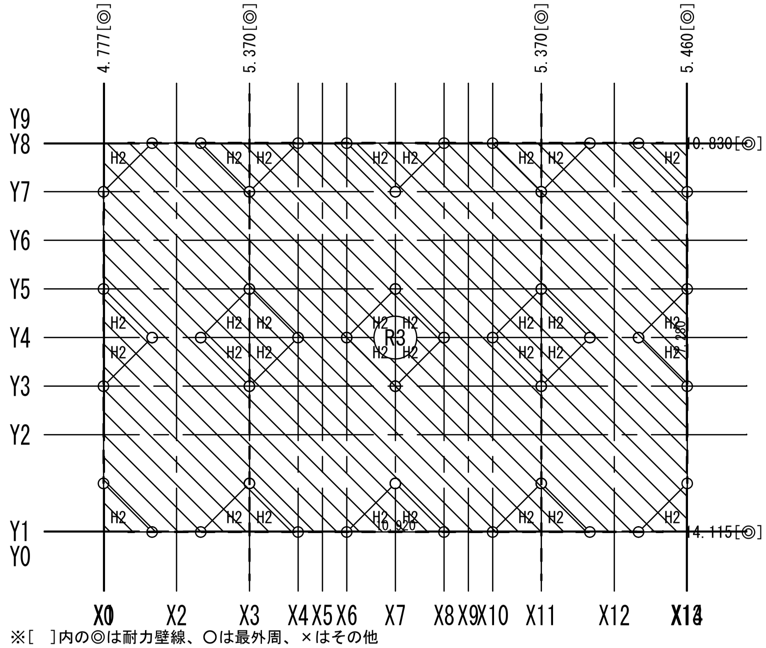
性能表示軸組判定表　　単位　m

階	方向	存在軸組長	耐震			耐風		
			必要軸組長	判定	壁余裕度	必要軸組長	判定	壁余裕度
2	X	29.220	27.269	OK	1.07	4.362	OK	6.69
	Y	30.206	27.269	OK	1.10	13.754	OK	2.19
1	X	51.457	46.110	OK	1.11	15.906	OK	3.23
	Y	49.549	46.110	OK	1.07	30.735	OK	1.61



※[ ]内の◎は耐力壁線、○は最外周、×はその他

2階水平構面図



※[ ]内の◎は耐力壁線、○は最外周、×はその他

小屋水平構面図

床凡例

記号	仕様	倍率	表示
F1	構造用合板12mm以上、根太@340以下、落し込み、N50@150以下	2.00	
F2	構造用合板12mm以上、根太@340以下、半欠き、N50@150以下	1.60	
F3	構造用合板12mm以上、根太@340以下、転ばし、N50@150以下	1.00	
F4	構造用合板12mm以上、根太@500以下、落し込み、N50@150以下	1.40	
F5	構造用合板12mm以上、根太@500以下、半欠き、N50@150以下	1.12	
F6	構造用合板12mm以上、根太@500以下、転ばし、N50@150以下	0.70	
F7	構造用ﾊﾟﾈﾙ1･2級以上、根太@340以下、落し込み、N50@150以下	2.00	
F8	構造用ﾊﾟﾈﾙ1･2級以上、根太@340以下、半欠き、N50@150以下	1.60	
F9	構造用ﾊﾟﾈﾙ1･2級以上、根太@340以下、転ばし、N50@150以下	1.00	
F10	構造用ﾊﾟﾈﾙ1･2級以上、根太@500以下、落し込み、N50@150以下	1.40	
F11	構造用ﾊﾟﾈﾙ1･2級以上、根太@500以下、半欠き、N50@150以下	1.12	
F12	構造用ﾊﾟﾈﾙ1･2級以上、根太@500以下、転ばし、N50@150以下	0.70	
F13	構造用合板24mm以上、根太なし直張り4周釘打ち、N75@150以下	3.00	
F14	構造用合板24mm以上、根太なし直張り川の字釘打ち、N75@150以下	1.20	
F15	幅180杉板12mm以上、根太@340以下、落し込み、N50@150以下	0.39	
F16	幅180杉板12mm以上、根太@340以下、半欠き、N50@150以下	0.36	
F17	幅180杉板12mm以上、根太@340以下、転ばし、N50@150以下	0.30	
F18	幅180杉板12mm以上、根太@500以下、落し込み、N50@150以下	0.26	
F19	幅180杉板12mm以上、根太@500以下、半欠き、N50@150以下	0.24	
F20	幅180杉板12mm以上、根太@500以下、転ばし、N50@150以下	0.20	

屋根凡例

記号	仕様	倍率	表示
R1	勾配45度(矩勾配)以下、構造用合板9mm以上、垂木@500以下、転ばし、N50@150以下	0.50	
R2	勾配45度(矩勾配)以下、構造用ﾊﾟﾈﾙ1･2･3級、垂木@500以下、転ばし、N50@150以下	0.50	
R3	勾配30度(5寸)以下、構造用合板9mm以上、垂木@500以下、転ばし、N50@150以下	0.70	
R4	勾配30度(5寸)以下、構造用ﾊﾟﾈﾙ1･2･3級、垂木@500以下、転ばし、N50@150以下	0.70	
R5	勾配45度(矩勾配)以下、幅180杉板9mm以上、垂木@500以下、転ばし、N50@150以下	0.10	
R6	勾配30度(5寸)以下、幅180杉板9mm以上、垂木@500以下、転ばし、N50@150以下	0.20	

火打凡例

記号	仕様	倍率
H1	木製90×90、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい240以上	0.80
H2	木製90×90、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい150以上	0.60
H3	木製90×90、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい105以上	0.50
H4	木製90×90、平均負担面積3.3㎡以下、梁せい240以上	0.48
H5	木製90×90、平均負担面積3.3㎡以下、梁せい150以上	0.36
H6	木製90×90、平均負担面積3.3㎡以下、梁せい105以上	0.30
H7	木製90×90、平均負担面積5.0㎡以下、梁せい240以上	0.24
H8	木製90×90、平均負担面積5.0㎡以下、梁せい150以上	0.18
H9	木製90×90、平均負担面積5.0㎡以下、梁せい105以上	0.15
H10	火打金物HB、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい240以上	0.80
H11	火打金物HB、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい150以上	0.60
H12	火打金物HB、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい105以上	0.50
H13	火打金物HB、平均負担面積3.3㎡以下、梁せい240以上	0.48
H14	火打金物HB、平均負担面積3.3㎡以下、梁せい150以上	0.36
H15	火打金物HB、平均負担面積3.3㎡以下、梁せい105以上	0.30
H16	火打金物HB、平均負担面積5.0㎡以下、梁せい240以上	0.24
H17	火打金物HB、平均負担面積5.0㎡以下、梁せい150以上	0.18
H18	火打金物HB、平均負担面積5.0㎡以下、梁せい105以上	0.15

耐力壁線チェック表　　単位　m

階	方向	通り	計算式	存在壁量	奥行長	奥行長×0.6	判定	耐力壁線間距離
2	X	0	2.700+4.050+4.050+0.615+2.700	14.115	8.190	4.914	◎	7.280
		9	2.700+2.730+2.700+2.700	10.830	8.190	4.914	◎	
	Y	0	2.047+2.730	4.777	3.640	2.184	◎	2.730
		3	5.370	5.370	7.280	4.368	◎	5.460
		11	5.370	5.370	7.280	4.368	◎	2.730
		14	2.730+2.730	5.460	3.640	2.184	◎	
1	X	0	5.340+5.340	10.680	8.190	4.914	◎	3.640
		4	3.640+3.640+3.640	10.920	10.920	6.552	◎	1.820
		6	1.820+1.820+1.820+1.820+5.460	12.740	10.920	6.552	◎	1.820
		9	5.460+5.460	10.920	8.190	4.914	◎	
	Y	0	7.160+1.820+1.820	10.800	4.550	2.730	◎	2.730
		3	7.160+1.820+1.760	10.740	7.280	4.368	◎	5.460
		11	7.160	7.160	7.280	4.368	◎	2.730
		14	7.160+7.280	14.440	3.640	2.184	◎	

必要床倍率計算表　　単位　m

階	方向	通り	上階壁線	α	耐力壁線間距離	壁線方向距離	耐震必要床倍率			耐風必要床倍率		
							乗ずる数値	CE	倍率	乗ずる数値	CW	倍率
				①	②	③	④	⑤=④/2	①×②×⑤	⑥	⑦=⑥×1.4	①×②/③×⑦
											⑦=⑥×2.8	
2	X	0-9	−	1.0	7.280	10.920	0.343	0.172	1.253	0.530	0.742	0.495
	Y	0-3	−	1.0	2.730	7.280			0.470			0.279
		3-11	−	1.0	5.460	7.280			0.940			0.557
		11-14	−	1.0	2.730	7.280			0.470			0.279
1	X	0-4	無	0.5	3.640	10.920	0.580	0.290	0.528		1.484	0.248
		4-6	無	0.5	1.820	10.920			0.264			0.124
		6-9	無	0.5	1.820	10.920			0.264			0.124
	Y	0-3	無	0.5	2.730	7.280			0.396			0.279
		3-11	無	0.5	5.460	7.280			0.792			0.557
		11-14	無	0.5	2.730	7.280			0.396			0.279

火打構面判定表　　単位　㎡

階	方向	通り	計算式	面積	本数	1本の負担面積	横架材せい最小寸法	火打による水平構面の仕様	記号	判定
2	X	0-9	7.280×10.920	79.497600	32	2.5	150.0	木製90×90、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい150以上	H2	OK
	Y	0-3	2.730×7.280	19.874400	8	2.5	150.0	木製90×90、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい150以上	H2	OK
		3-11	5.460×7.280	39.748800	16	2.5	150.0	木製90×90、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい150以上	H2	OK
		11-14	2.730×7.280	19.874400	8	2.5	150.0	木製90×90、平均負担面積2.5㎡以下、梁せい150以上	H2	OK
1	X	0-4	3.640×10.920	39.748800	0					
		4-6	1.820×10.920	19.874400	0					
		6-9	1.820×10.920	19.874400	1	19.9	240.0			
	Y	0-3	2.730×7.280	19.874400	0					
		3-11	5.460×7.280	39.748800	1	39.8	240.0			
		11-14	2.730×7.280	19.874400	0					

平均存在床倍率計算表　　単位　m

階	方向	通り	区画計算(Q:床/屋根 H:火打 A:(Q+H)×L)						平均存在床倍率
			通り	Q	H	L	A	ΣA/ΣL	ΣA/ΣLの最小
2	X	0-9		0.70	0.60			1.300	1.300
	Y	0-3		0.70	0.60			1.300	1.300
		3-11		0.70	0.60			1.300	1.300
		11-14		0.70	0.60			1.300	1.300
1	X	0-4	0-3	3.00	0.00	2.730	8.190	1.500	1.500
				0.00	0.00	5.460	0.000		
				3.00	0.00	2.730	8.190		
				計		10.920	16.380		
			3-4	3.00	0.00	2.730	8.190	3.000	
				3.00	0.00	8.190	24.570		
				計		10.920	32.760		
		4-6	4-5	3.00	0.00	2.730	8.190	2.250	2.250
				0.00	0.00	2.730	0.000		
				3.00	0.00	5.460	16.380		
				計		10.920	24.570		
			5-6	3.00	0.00	2.730	8.190	2.328	
				0.00	0.00	2.444	0.000		
				3.00	0.00	5.746	17.238		
				計		10.920	25.428		
		6-9		3.00	0.00	2.730	8.190	3.000	3.000
				3.00	0.00	8.190	24.570		
				計		10.920	32.760		
	Y	0-3		3.00	0.00			3.000	3.000
		3-11	3-6.7	0.00	0.00	2.730	0.000	1.125	1.125
				3.00	0.00	0.910	2.730		
				0.00	0.00	1.820	0.000		
				3.00	0.00	1.820	5.460		
				計		7.280	8.190		
			6.7-7	0.00	0.00	2.730	0.000	1.500	
				3.00	0.00	0.910	2.730		
				0.00	0.00	0.910	0.000		
				3.00	0.00	2.730	8.190		
				計		7.280	10.920		
			7-11	0.00	0.00	2.730	0.000	1.875	
				3.00	0.00	4.550	13.650		
				計		7.280	13.650		
		11-14		3.00	0.00			3.000	3.000

床倍率判定表

階	方向	通り	平均存在床倍率	耐震必要床倍率	判定	耐風必要床倍率	判定
2	X	0-9	1.300	1.253	OK	0.495	OK
	Y	0-3	1.300	0.470	OK	0.279	OK
		3-11	1.300	0.940	OK	0.557	OK
		11-14	1.300	0.470	OK	0.279	OK
1	X	0-4	1.500	0.528	OK	0.248	OK
		4-6	2.250	0.264	OK	0.124	OK
		6-9	3.000	0.264	OK	0.124	OK
	Y	0-3	3.000	0.396	OK	0.279	OK
		3-11	1.125	0.792	OK	0.557	OK
		11-14	3.000	0.396	OK	0.279	OK

床・小屋梁の継手・仕口判定表　　単位　m

階	方向	通り	耐力壁線間距離	平均存在床倍率	床・小屋梁の継手・仕口			
					必要接合部倍率	継手・仕口	存在接合部倍率	判定
2	X	0-9	7.280	1.300	1.751	J1	1.900	OK
	Y	0-3	2.730	1.300	0.700			
		3-11	5.460	1.300	1.314	J1	1.900	OK
		11-14	2.730	1.300	0.700			
1	X	0-4	3.640	1.500	1.011	J1	1.900	OK
		4-6	1.820	2.250	0.758	J1	1.900	OK
		6-9	1.820	3.000	1.011	J1	1.900	OK
	Y	0-3	2.730	3.000	1.516	J1	1.900	OK
		3-11	5.460	1.125	1.137	J1	1.900	OK
		11-14	2.730	3.000	1.516	J1	1.900	OK

使用建築材料表　※居室の内総仕上

階	室名	室面積 ㎡	室内の仕上の部分	種別	面積 ㎡	係数	使用面積 ㎡	使用面積の合計 判定結果
1階	和室	１２．４２	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	間	３５．６１	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	土間　階段	２０．７０	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	トイレ	１．６６	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	脱衣洗面	２．４８	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	押入	１．６６	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
2階	間	１９．８７	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				OK
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	間	１９．８７	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	廊下	９．９４	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	トイレ	２．４８	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	納戸	７．４５	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	階段	４．９７	床	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			壁	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			天井	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			建具	制限対象外（F☆☆☆☆）				
			その他	制限対象外（F☆☆☆☆）				
	合計	１５６．５０						

※天井裏等の下地材等

2階小屋裏	該当なし
1階天井裏	規制対象外（F☆☆☆☆）
1階床裏	規制対象外（F☆☆☆☆）
外壁	規制対象外（F☆☆☆☆）
間仕切	規制対象外（F☆☆☆☆）